

福証IRフェスタ 2024夏

株式会社富士ピー・エス(証券コード：1848)



人と人をつなぐ。それはやがて、景色になる。
株式会社富士ピー・エス



会社概要

会社概要

会社名 株式会社富士ピー・エス

創立 1954年3月

所在地 福岡市中央区
薬院一丁目13番8号

上場 東証スタンダード、福証
(証券コード：1848)

資本金 23億7,927万円

従業員数 431名
(2024年3月末現在)

事業内容

土木事業
建築事業
不動産賃貸事業
その他

取引先

国土交通省
都道府県市町村
高速道路各社
鉄道・運輸機構
JR各社
UR
民間企業
他

スローガン  人と人をつなぐ。それはやがて、景色になる。
株式会社富士ピー・エス

未来をつむぐ人とのつながり



2024年は、当社が創業してから満70周年を迎える年です。

その先の「100年企業の仲間入り」を目指して、今後も継続、成長を続けてまいります。

グループ会社・社内ネットワーク

グループ会社

会社名	所在地	事業内容
駿河技建(株)	静岡県	コンクリート構造物の診断および補修、補強等
(株)ピーエフ・ディー	福岡県	土木・建築の設計等
ミャンマー富士ピー・エス建設(株)	ミャンマー連邦共和国	建設コンサルタント等

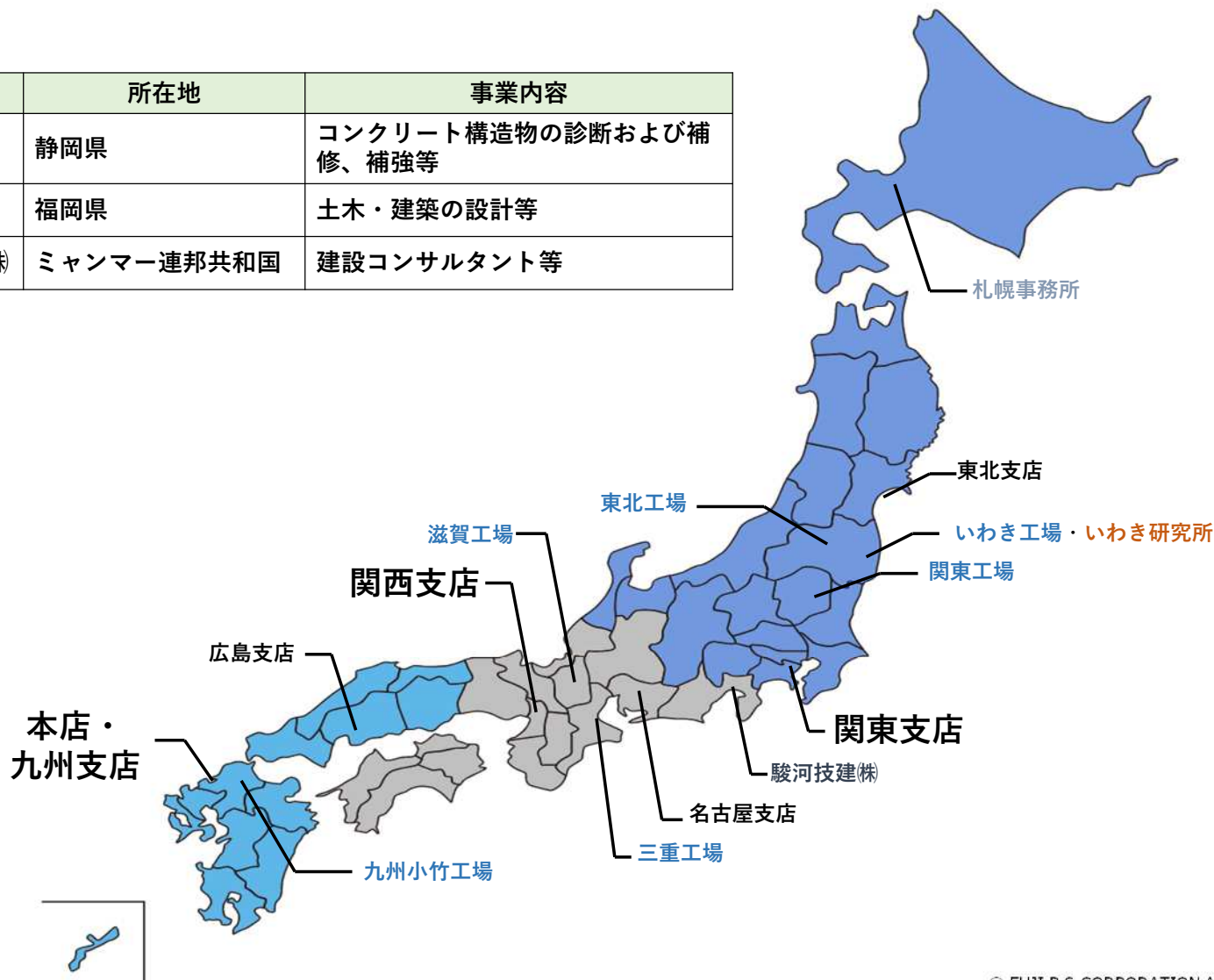
社内ネットワーク

本支店 7

営業所 15

工場 6

研究所 1





事業概要

事業概要

売上高(連結) **286億円**
(2024年3月期)

土木事業

- 橋梁 (道路橋、鉄道橋)
- タンク (容器構造物)
- マクラギ、メンテナンス



	売上高(百万円)	比率
新設工事	15,078	74.5%
床板取替工事	2,000	9.9%
維持補修工事	3,156	15.6%
合計	20,235	

2024年3月期実績 ※個別

不動産賃貸事業, 0.9%

建築事業,
23.6%

土木事業,
75.5%

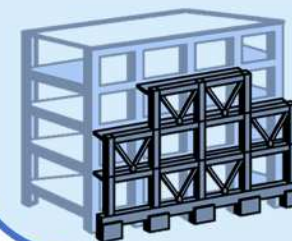
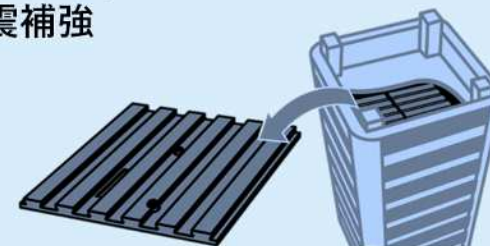
セグメント別売上高構成比

不動産賃貸事業

- 不動産の賃貸、管理等

建築事業

- マンション、オフィスビル
- 物流倉庫、スタジアム
- 耐震補強



事業概要 - 土木事業

新設事業

工事名：首都圏中央連絡自動車道阿見高架橋(PC上部工)工事

工期：2021年7月～2025年6月(施工中)

発注者：東日本高速道路(株) 関東支社



維持更新事業

工事名：宮崎自動車道(特定更新等)池島川橋(上り線)床板取替工事

工期：2021年11月～2023年9月

発注者：西日本高速道路(株) 九州支社



維持補修事業

工事名：一ツ葉大橋耐震工事

工期：2023年1月～2025年7月(施工中)

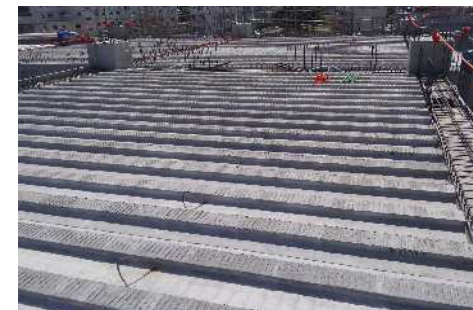
発注者：宮崎県道路公社



事業概要 - 建築事業

FR板スラブ工法

- ▶ 当社工場で製造するFR板を高層マンションの床材として敷設する工法
- ▶ 型枠としての機能を有し、木製型枠を使用しない地球環境にやさしいエコロジー商品



耐震補強工法

- ▶ 工事の騒音・振動・粉塵の低減
- ▶ 居室内工事が不要で「完全居ながら施工」が可能
- ▶ マンションや学校の校舎などに採用される



プレキャストPC工法

- ▶ 工場で作成した部材を現場で組み立てて構造物を造る工法
- ▶ 環境にやさしく、耐震性に優れた部材提供が可能
- ▶ スタジアムや学校の体育館などに採用される



事業概要 - 工場

多種多様な製品で時代のニーズに貢献

土木製品



プレキャストPC床版



プレキャスト桁橋

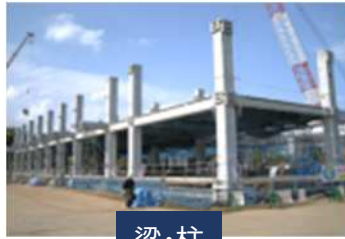


プレキャストセグメント

建築製品



FR板



梁・柱



段床版

製造設備

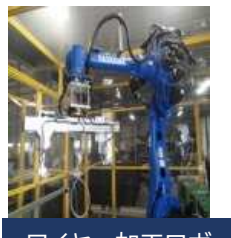
自動生産ライン・ロボット技術を活用した製品製造による
省人・省力化



IM設備




スリップフォーマー



ワイヤー加工ロボ

全国をカバーする工場生産体制





第5次中期経営計画VISION2030

「新たな成長戦略に向けた経営リソース(ヒト・モノ・カネ)の拡充」

VISION2030の実現に向けて

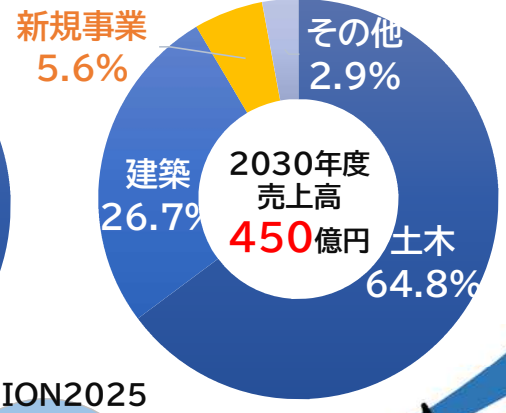
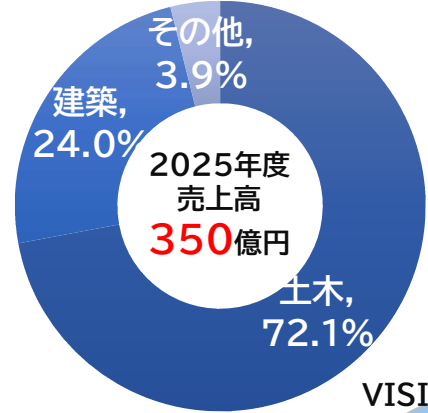
VISION 2025のゴール

※経営資源の充実を図る

- ✓ 高収益体制の実現
- ✓ 経常的に経営資源を充実させていく体制・文化の構築

VISION 2030のゴール

- ✓ 価値を創造するエンジニアリング企業
- ✓ 顧客の要望にワンストップで応える企業
- ✓ 世界レベルのSDGs達成に貢献する企業



VISION2030
2030のゴール
売上高450億円
営業利益率5%

VISION2030
発表

2025年3月期
(予想)
売上高332億円
営業利益率2.4%

VISION2025
2030に向けた
通過点
売上高350億円
営業利益率5%



新規事業

既存事業



2021

2024

2025

2030

既存事業の更なる充実

新規事業への挑戦・拡大

VISION2030の実現及び新たな社会課題への対応

各種取り組みの位置づけ

	人材資源の増強	DXの推進	工場設備の増強	M&Aその他の施策	新規事業
VISION2030の実現に向けた施策	●	●	●	●	●
新たな社会課題	働き方改革 (担い手確保)	●	●		
	生産性の維持・向上	●	●		

具体的な施策



人事制度改革



DXの推進



工場リニューアルの実施



M&Aによる
事業体制の拡大



PcaPC事業の拡大



PC矢板を用いた堤防補強



リ・ブランディング



バックオフィスの設置



カーボンニュートラル



株主還元策



風力発電設備関連事業



いわき研究所本格始動



福島広域連携ラボ



PPP(官民連携事業)

社員採用と入社後のキャリア形成

【多様なリクルート、育成プログラムで人材資源の強化を図る】

①人材採用

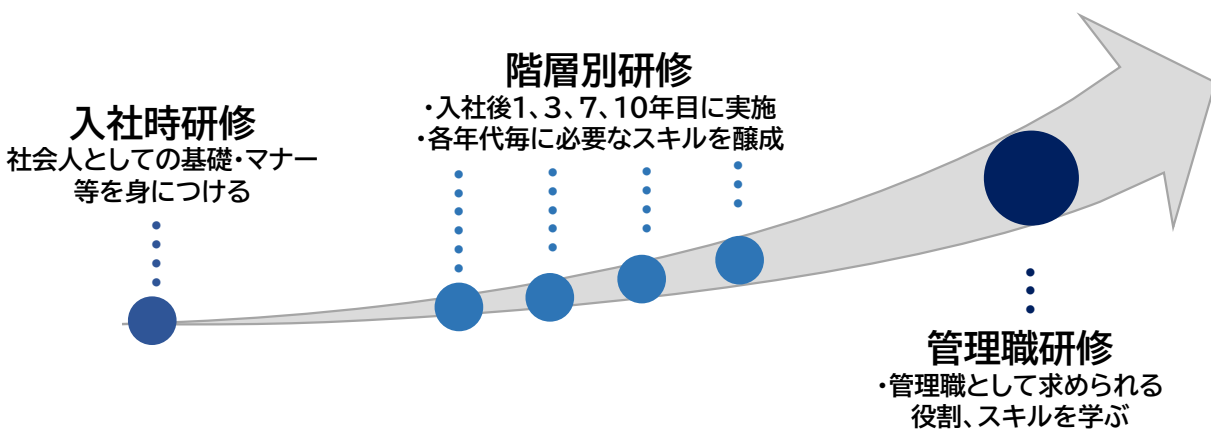


社内に異なる経験・技能・属性を反映した
多様な人材を確保し、育成する

【リクルート方法】

- ①大学、高専向け企業説明会への積極的な参加、②職場見学、インターンシップなどによる魅力の発信、③教育機関との共同研究(“福島広域連携ラボ”による教育機関とのコミュニティ形成)

②社員育成プログラム



資格取得支援講座

- ☞ 技術士をはじめとした資格別の試験対策講座の実施

職務別研修

- ☞ 部署毎に求められる専門スキルを醸成。必要に応じて外部機関が実施する研修・セミナーへの参加を促し、社内のみでは得られないスキルの獲得を目指す

例: 英語研修、海外研修etc…

リ・ブランディング

(国が提言する建設業の既存ブランド再構築を含めた新たなブランドの構築)

人材資源の増強

働き方改革(担い手確保)

【富士ピー・エス版リ・ブランディング】

現場職員個々人が、真に「誇り・魅力・やりがい」を感じるためには、**個人レベルで充実感と満足感**を得られる環境が必要である

本質的な生産性向上の実現に向けて

【人事/教育/キャリア】



✓ ゆとりと魅力のある
宿舍環境づくり

✓ 風通しの良い職場づくり
✓ 業務改善の促進
✓ 週休二日制の完全導入

✓ 適正な評価制度の確立
✓ キャリアプラン・キャリアパスの明確化
✓ 評価体制、個人の成長を促す環境づくり

ウェルネス作業所の設置

- 魅力的で働きがいがある環境づくり
- **働きやすさの向上**、職員の**健康増進**を図る



リフレッシュスペースでは、**所長自ら声をかけ**、コーヒーを飲みお茶菓子を食べながら談笑することもあり、**コミュニケーションの活性化**に一役買っています。

当作業所はベテラン社員から入社2年目の社員まで、さらには女性社員も従事し、**年齢層・性別が多様な現場**です。



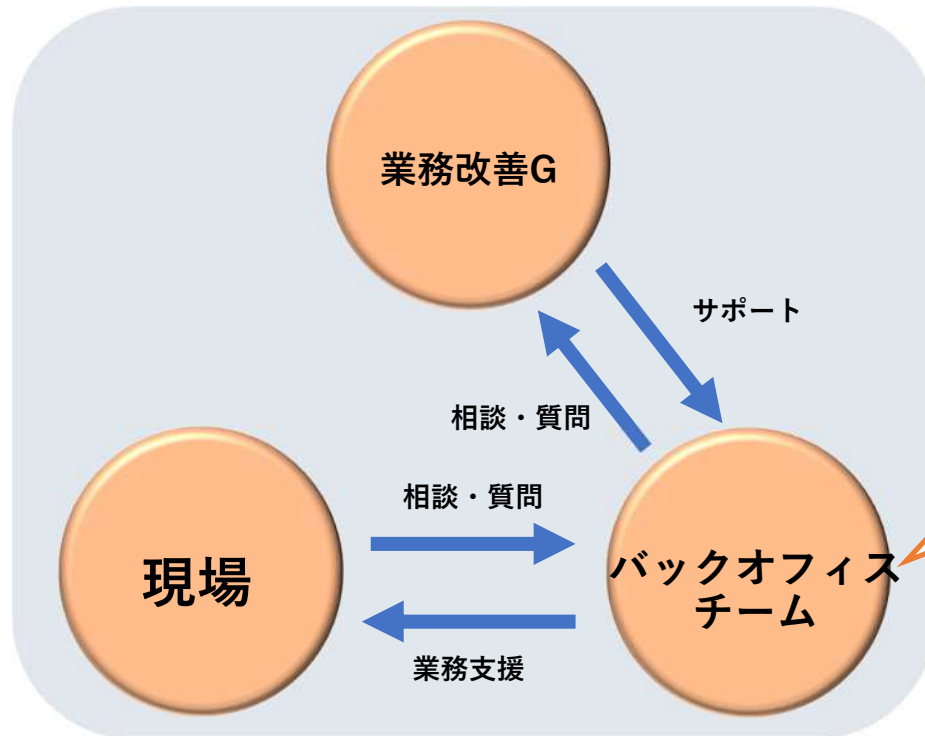
DXの推進(現場施工の業務支援)

【バックオフィスの設置】

導入の背景

- ・生産現場の働き方改革
- ・2024.4 残業時間上限規制への対応

業務支援の流れ



【バックオフィスによる現場業務の支援状況】 支援する現場業務の内容

- ・施工計画書の作成支援
- ・事務所、宿舎等の手配
- ・検収業務
- ・安全書類システムの運用 etc…

導入効果(施工期間1年間の現場に例えると、、、)

- ・現場稼働時間のうち、**1.2時間/日**の削減
⇒現場職員に余剰時間ができ、施工・安全管理への注力を高めるとともに、残業の削減や自己研鑽の時間にする
働き方改革を実現



- ・勤務時間5~8時間/日
- ・リモートワーク可能
- ・**“フレキシブルな働き方”**に対応



DXの推進

働き方改革(担い手確保)

生産性の維持・向上

DXの推進(ICT技術の活用)

【クラウド型施工支援ツールとタブレットの活用】



【業務】
・工事写真の撮影
・品質検査



【従来】
事務所に帰って写真管理や
帳票の作成を実施。
事務所と現場の往来が必須
=業務時間にムダが生じる



【ツールの活用】
クラウドに写真を保管。
タブレットで直接帳票を記入することで、
データ共有が可能になり
移動時間と二度手間の削減へ貢献



導入前後で

約2時間/日

の業務時間削減を達成。

【自動設計システムの開発】

	FR板自動作成指令書システム	PcaPC床版自動設計システム
概要	FR板の定型型枠に図面を割り付けるシステム	設計結果を入力することで図面を作成するシステム
効果①	型枠への充填率の向上	図面作成の処理速度の向上
効果②	作業時間を 20分/日 に短縮、 生産性が 10%UP	図面1枚当たり 1分で作図可能
今後	今期中に全工場への展開を目指す	機能向上、新機能の付与を目指す

工場リニューアル計画の実施

工場設備の増強
働き方改革(担い手確保)
生産性の維持・向上

【九州小竹工場リニューアル】

工場最適化の3要素を盛り込み、

生産能力の向上と**未来型工場への転換**を図る。

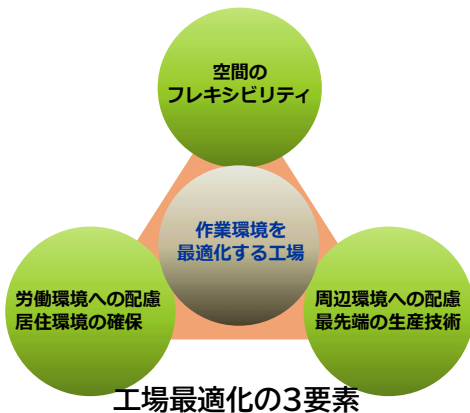
生産能力の向上

・総額**33億円**の設備投資を実行

	生産数量(千t)	売上高(百万円)
リニューアル前	50.1	2,618
リニューアル後	60.6	3,588

生産量は**20%UP**、売上高は**37%UP**を予想

未来型工場への転換



完成予想図

【他5工場のリニューアル】

リニューアル計画を策定。生産能力増強計画を実施。



東北工場



いわき工場



関東工場



三重工場



滋賀工場

© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.

M&Aによる事業体制の拡大

M&A・その他施策

【駿河技建について】

- ・インフラメンテナンス分野において、優秀な人材の確保と技術力の強化を進め、更なる事業拡大を目的として、2021年10月に完全子会社化
- ・鋼橋塗替塗装の先進工法である”クリーンレーザー工法”を導入し、事業の拡大を図る

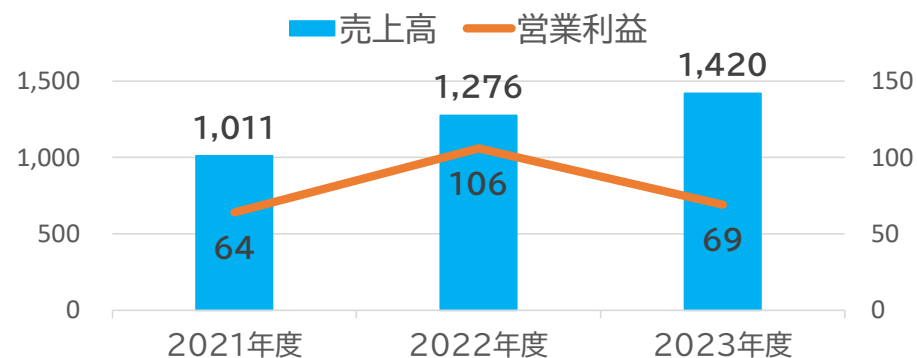
》》》インフラメンテナンス需要に、富士ピー・エスグループで応える

▼事務所全景



▲クリーンレーザー工法に用いる機材

【業績】



クリーンレーザー工法とは？

- ・高出力のレーザー光線により、粉塵の飛散、騒音や産業廃棄物の発生を防ぎつつ、旧塗膜・鉄サビ部分を除去し、粒子を吸引する画期的な工法
- ➡近隣住民・周辺環境への影響を最小限に(=SDGsへの貢献)
- ➡制約の多い施工条件から後回しになっていた橋梁への補修工事も可能

》》》メンテナンス需要のさらなる取り込みに期待

カーボンニュートラル

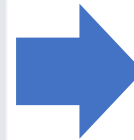
M&A・その他施策



【カーボンニュートラル推進プロジェクト】

プロジェクトの活動

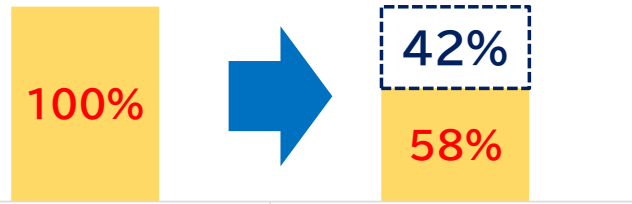
- ・削減目標の設定
- ・情報発信
- ・ロードマップの策定
- ・CO2排出量削減施策の検討



SBT(Science Based Targets)認定の取得

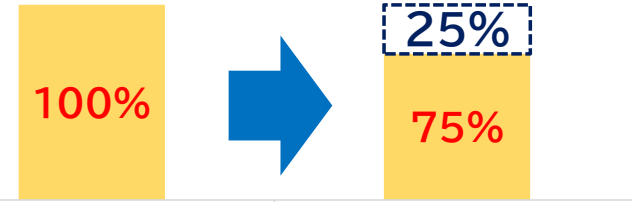
削減目標の設定 ※2020年度の排出量を100とした場合

Scope1、2の削減目標



□ 削減量
■ 排出量

Scope3の削減目標



□ 削減量
■ 排出量

※Scope1: 自社が直接排出する温室効果ガスの量

※Scope2: 自社が間接排出する温室効果ガスの量

※Scope3: 左記Scope1,2に含まれず、かつ自社事業に関わる排出量

目標達成に向けた取り組み

工事現場での取り組み

- ①省エネ機材の活用
- ②再エネ電源の使用
- ③プレキャスト化の推進
※現場でのエネルギー使用量の削減に寄与



自社工場での取り組み

- ①産業副産物を活用したコンクリートの開発
※材料由来のCO2排出量の低減に寄与
- ②養生時の燃料の天然ガスへの変更

取り組みの一例: 低炭素型FR板→



PC矢板を用いた堤防補強

新規事業

豪雨による河川の氾濫や土砂災害への対策



モノづくりを通じた防災・減災への貢献

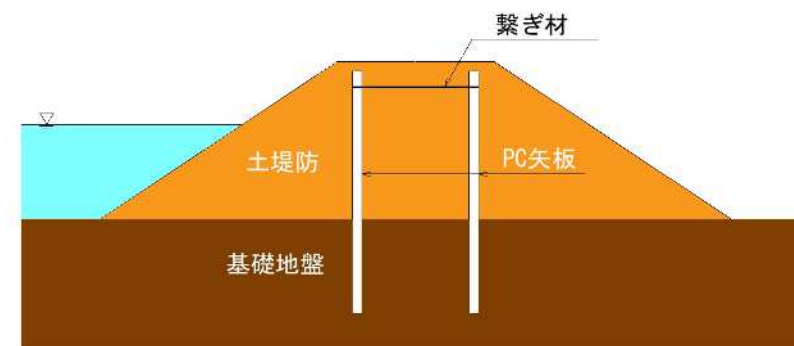
実施時期	取り組み内容
～2023年度	<ul style="list-style-type: none">国土交通省国土技術政策総合研究所からの委託研究(令和3年度～令和4年度)自社敷地内での試験施工国交省の技術公募(越水に関する「粘り強い河川堤防に関する技術」)に応募
2024年度 ～2025年度	<ul style="list-style-type: none">技術公募の評価により提示された技術的課題(地震後の堤防の安全性や損傷時の復旧等)の遂行 ➡小規模試験施工やパイロット施工の対象技術への段階的な分類を目指す
最終ゴール	PC矢板を用いた堤防補強工法が、設計段階での選定や特定の現場で採用されることを目指す ➡事業化に繋がる第一歩



九州を襲った記録的な豪雨により決壊した球磨川(2020年7月)



PC矢板の打ち込み状況
(自社敷地内での試験施工)



堤防補強を想定したPC矢板二重壁構造(イメージ)

風力発電関連施設事業

新規事業

加速度的に実用化開発を進めて、、、

風力発電によるカーボンニュートラルへの貢献

地元地域等の産業復興の実現への貢献

【洋上風力発電事業への参画】

- ✓ 国内初となる洋上風力発電分野の産学官によるコンソーシアムへ参画しており、・洋上風力発電に関する技術の研究開発
・人材育成の推進 に取り組む

>>>当社技術(コンクリート浮体の製作・施工)で貢献



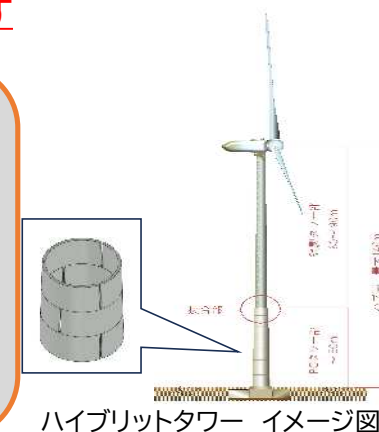
【風力ハイブリットタワーの実用化開発】

- ✓ 福島県「令和5年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金」
- ✓ に本提案が採択され、
 - ・低風速地域や既設風力発電のリプレイス市場の需要獲得
 - ・浜通り地域でのサプライチェーン構築 に取り組む

>>>2025年度までに実用化を目指す

「地域復興実用化開発等促進事業費補助金」とは？

福島県浜通り地域等15市町村において産業復興の早期実現を図る目的で行われ、当社はいわき研究所を中心に地域振興に資する共同提案を提出



PPP(官民連携事業)

新規事業

【官民連携事業への取り組み】

PPP/PFI制度によるインフラメンテナンス事業へ参画し、インフラ老朽化対策へ貢献

インフラ維持における逼迫性

①建設後50年を経過する施設の割合



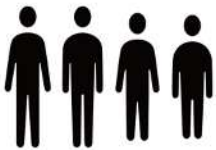
加速度的に増加

②国・地方自治体における公共事業費



抑制傾向

③市町村の土木・建築部門の職員数



減少傾向

PPP/PFIの推進

PPP/PFIの推進による民間資金・ノウハウの活用
…効果的、効率的な社会資本整備を推進



＝インフラの老朽化対策へ有効な手段

地域プラットフォームの構築

地方公共団体:経験不足やノウハウ欠如
企業・関係者:理解不足

…課題を解決するための官民対話等の取り組み



当社の具体的な取り組み

国交省総合政策局の「民間事業者、地方公共団体からPPP/PFIのシーズ・ニーズ募集」へ提案

提案内容「スマホで地域住民参加型の橋梁維持管理とデジタルポイント付与による地域活性化」

地元住民

…橋面上で気づいたことをアプリの写真機能を利用して通報
(地域で使用できるデジタルポイントが付与される)

地元企業

…プラットフォームを通じて通報内容を確認、必要に応じて施工

橋梁の長寿命化、住民の安全確保に寄与




※イメージ

PPP(Public Private Partnership)…官民が連携して公共サービスの提供を行う体系のこと。

PFI(Private Finance Initiative)…公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的・効果的な公共サービスの提供を図る考え方。

© FUJI P.S CORPORATION All Rights Reserved.



業績・決算概要

2025年3月期第1四半期決算

- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策（令和2年12月）」による予算を含め、公共の建設投資はインフラ老朽化対策など必要性の高い事業を中心に底堅く推移していくと見込む。
- ・一方で、資機材や製品輸送費の高騰など建設コストは総じて高い価格水準で推移しており、生産性の向上や収益の確保に向けた施策が必須となる。

(単位:百万円)	2025年3月期 第1四半期	前年同期
受注高	7,118	5,088
売上高	7,716	5,819
売上総利益	730	693
営業損失(△)	△125	△112
経常損失(△)	△104	△128
当期純損失(△)	△113	△20

● 受注高

【土木】

NEXCO中日本発注の床版取替工事を弊社代表による鋼橋事業者とのJVで新規に受注した他、NEXCO西日本より発注され優先交渉権を得ていた新名神高速道路の6車線化工事において新規大型案件を契約するなど大型工事を中心に受注活動を進めた。

【建築】

関東地区で前連結会計年度において大型再開発事業の早期受注が出来たことによる反動減があったものの、関西・中部地区におけるマンション事業の発注が順調に推移

● 売上高

【土木】

現場施工、製品製作もおおむね順調に進み、特に関西地区でのNEXCOを中心とする大型工事が順調に進捗

【建築】

関西・中部地区で耐震補強工事等の進捗好転があったことと、関東地区の大型再開発現場が順調に進捗

● 営業利益

【土木】

一部の設計変更において想定より低い協議結果が生じたために前年同期比減。

【建築】

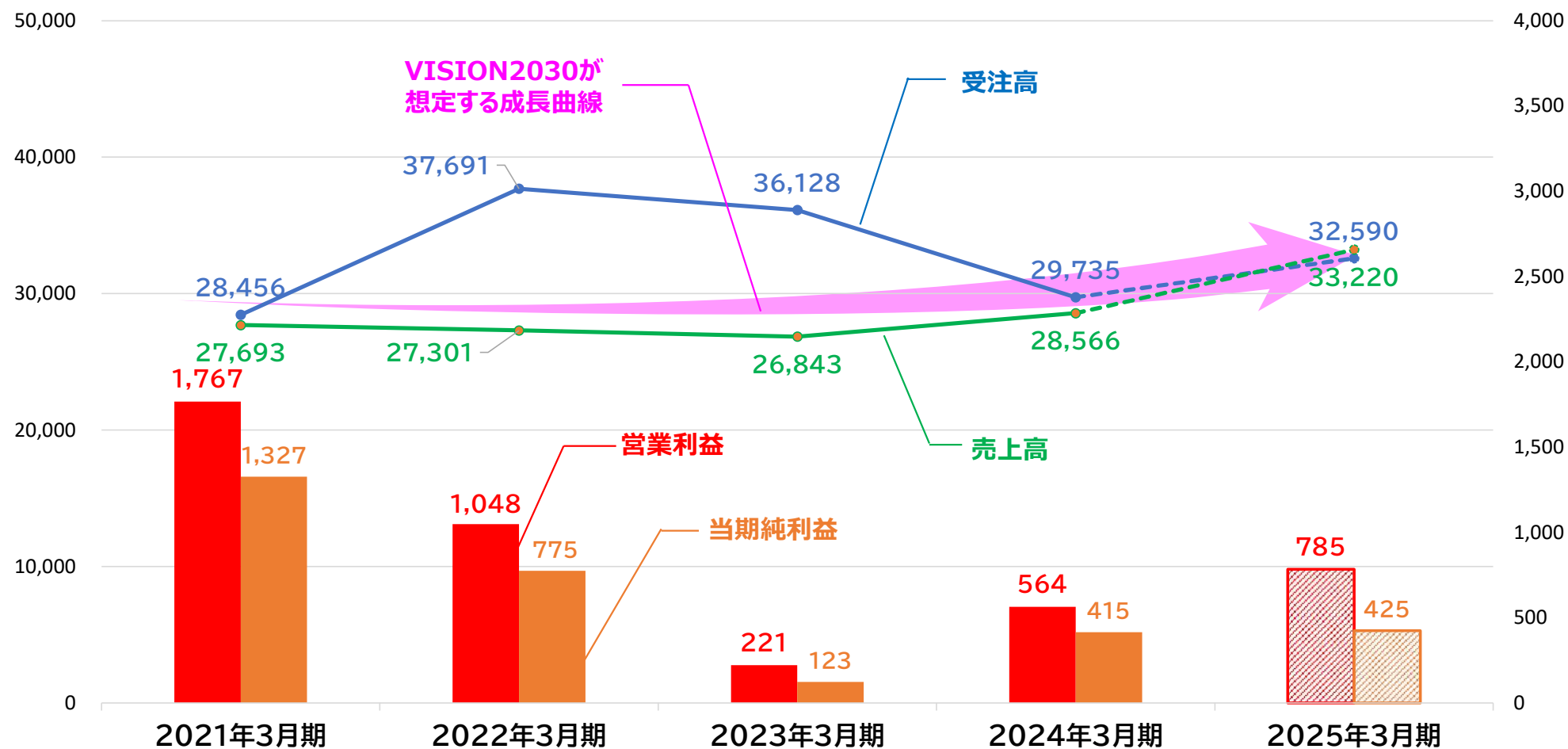
運送費、人件費等の建設コストの高騰の影響を受けた。

2025年3月期に向けて

1. 通期決算予想

(受注高・売上高/百万円)

(営業利益・経常利益/百万円)



2. 経営環境の現況と課題への対応

【業績目標】 VISION2030計画への軌道回復を目標とする（売上高**330**億円、営業利益率**4.5%**）

市場環境

土木市場

- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化計画」に基づく堅調なインフラ投資
- ・高速道路を中心とした大規模更新事業

>>> 公共事業投資を中心とした潤沢な市場が継続する見通し

建築市場

- ・都市部を中心とした再開発事業の活発化
- ・既存建物の耐震化事業の推進

>>> 新型コロナにより先送りされた事業の再開による市場の活況化

事業環境 の課題

全般

2024年問題(残業時間上限規制)における生産性および生産コストに関する課題
働き方改革、生産性向上対策としてのプレキャスト化の推進

土木市場

- ・工事の大型化、長期化に伴う利益管理の煩雑化と不透明化

>>> 工事原価の上昇傾向と年度工事利益の不安定化

建築市場

- ・原材料および燃料価格の高騰
- ・輸送分野の2024年問題における製品運搬コストの上昇傾向

>>> 適切な製品価格へのコスト転嫁の重要性

設備投資

- ・担い手確保に向けた製造現場の就業環境改善の必要性
- ・労務不足を補う自動化、オートメーション化の推進

>>> 工場を中心とした生産設備への集中的なリニューアルへの投資

課題 への対応

工事・工場利益の改善に向けた合理化策の実施
適切な設計変更、製品価格交渉による適正利益の確保
適正な工事・製品代金の回収によるキャッシュフローの改善 etc...

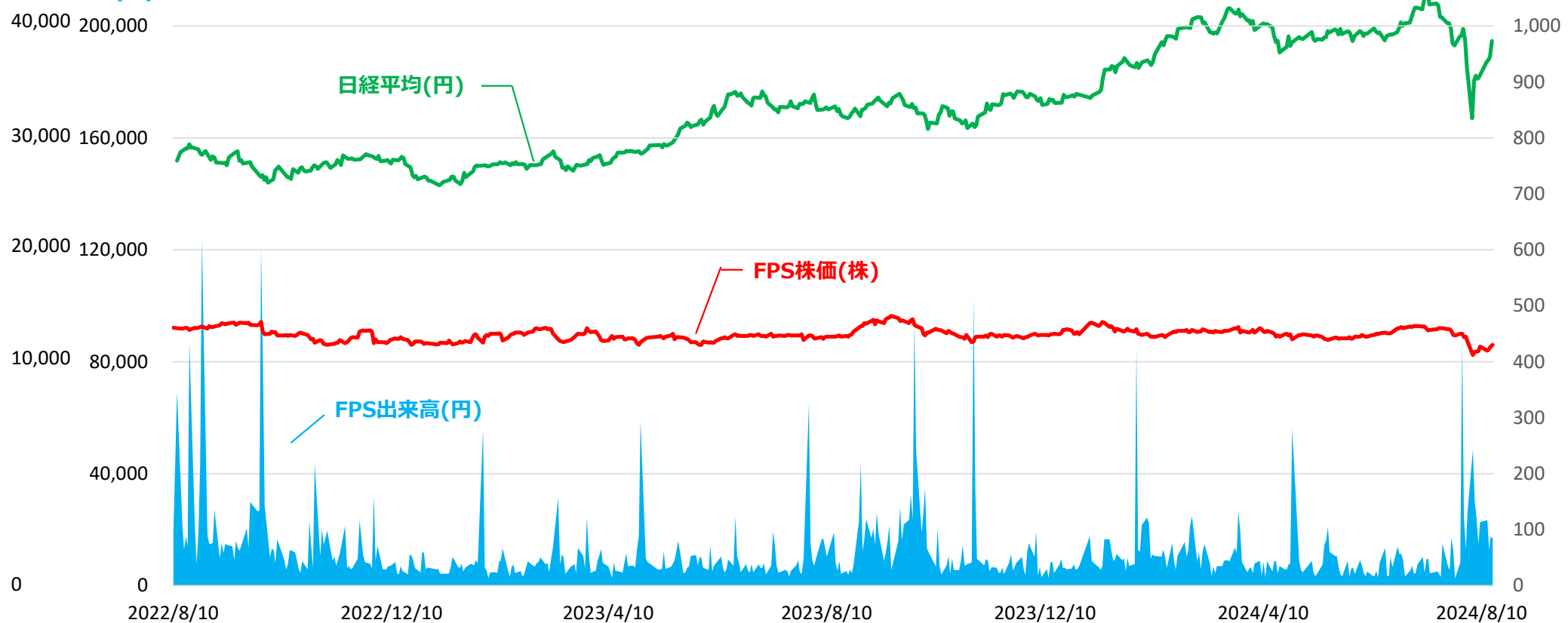
株価推移

年月日	イベント
2018/6/19	東京証券取引所市場第一部指定
2021/1/1	(株)シーピーケイを吸収合併
2021/5/12	中期経営計画「VISION2030」の策定
2021/10/4	駿河技建(株)の全株式を取得(子会社化)
2022/4/4	東京証券取引所の市場区分見直しにより、スタンダード市場へ移行

2024年8月16日時点
株価 **430円**

緑色 日経平均 (円)
青 FPS出来高 (円)

赤色 FPS株価 (円)



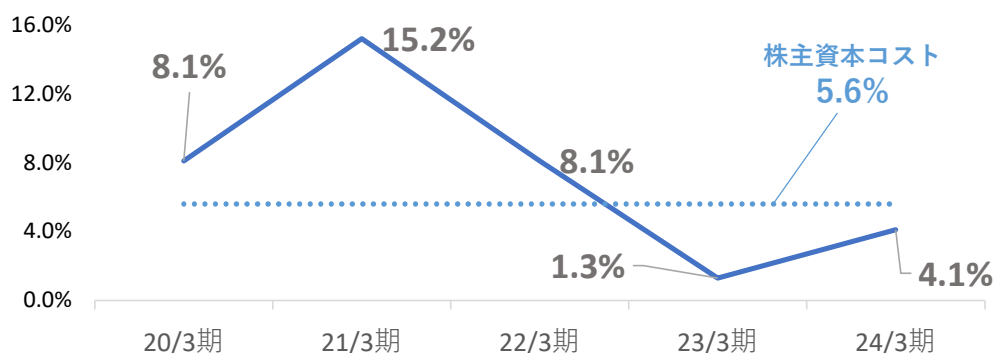
注： 2024/8/16 時点の株価、パーセンテージはグラフ始点(2022/8/10)を基準(100%)とした相対表示

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 (2024年5月15日開示)

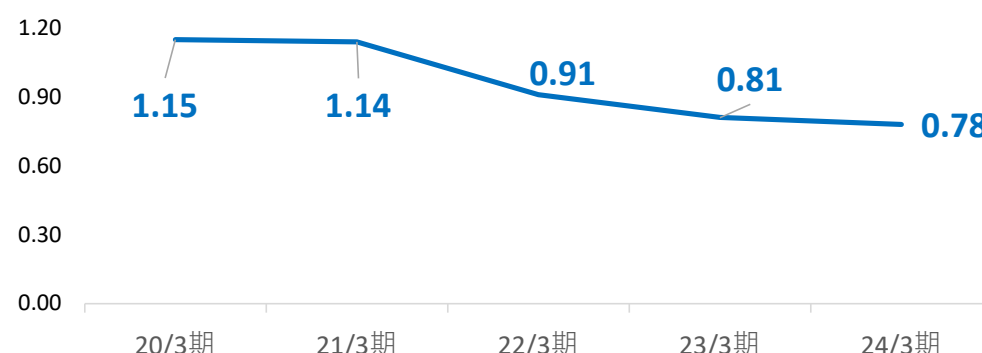
現状認識と課題

- ・ROEは直近2期連続で目標(7%維持)を下回り、エクイティスプレッド(ROE-株主資本コスト)もマイナス
- ・PBRは2022年3月期以降1.0倍を割り込む状態

ROEの推移



PBRの推移



改善に向けた目標と取り組み

東証の要請

中長期的な**企業価値の向上**

目標

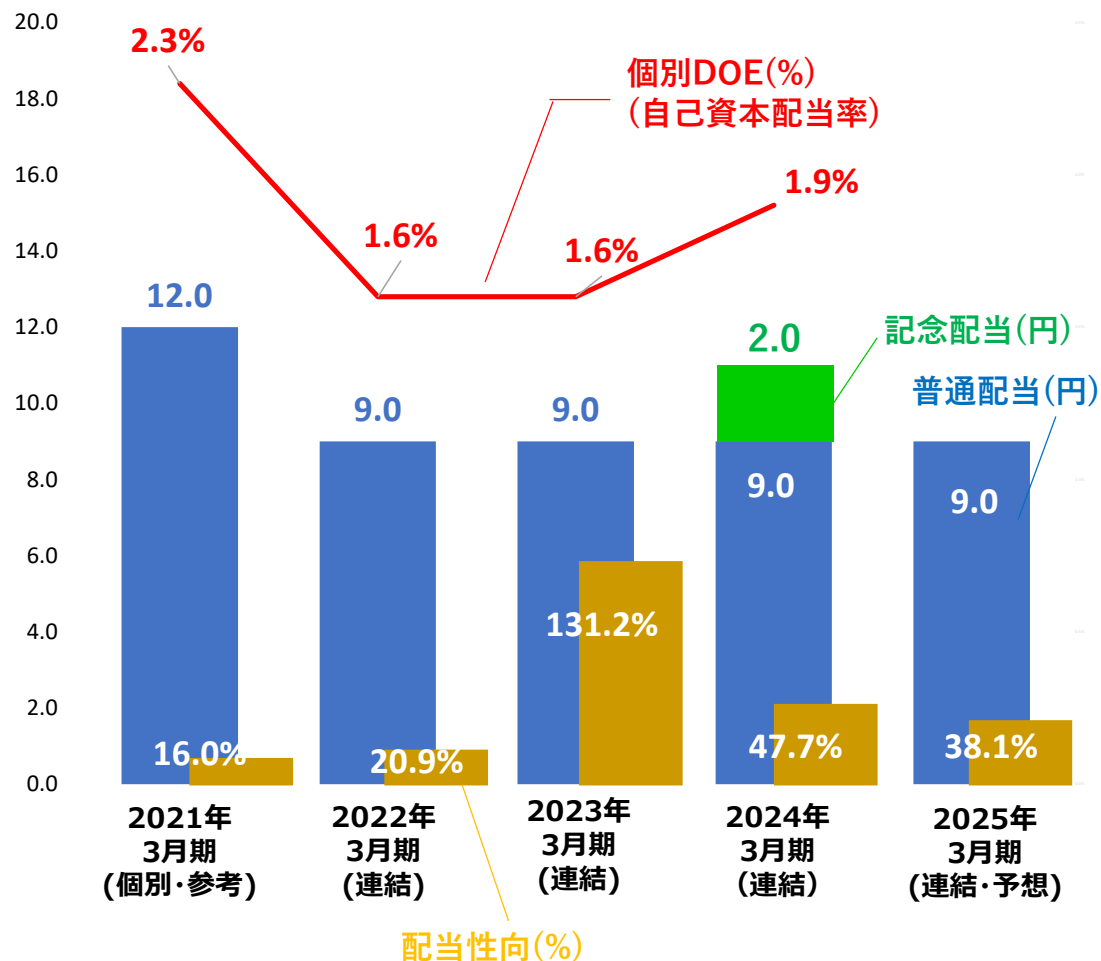
ROE **8%超**
PBR **1.0倍以上**
配当性向 **40%**

取り組み

- ①業績目標達成による**利益確保**
- ②**株価向上施策**
(配当政策の見直し、IR活動の強化、自己株式取得の検討)

配当方針

「財務体質の強化」と「積極的な事業展開に必要な内部留保の充実」を図りながら、安定配当を実施



株主優待

対象：1単元（100株）以上を保有する株主様
（毎年9月30日現在の株主名簿による）

保有株式数	保有年数	内容
100株以上	1年未満	QUOカード 500円分
	1年以上	QUOカード 1,000円分
1,000株以上	1年未満	QUOカード 1,500円分
	1年以上	QUOカード 3,000円分



株主価値の向上について

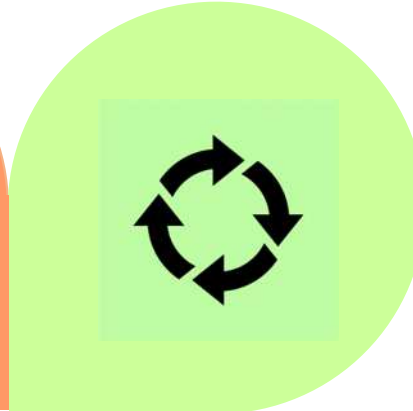
IR活動強化

- ・HP発信力の強化
- ・個人株主説明会の実施



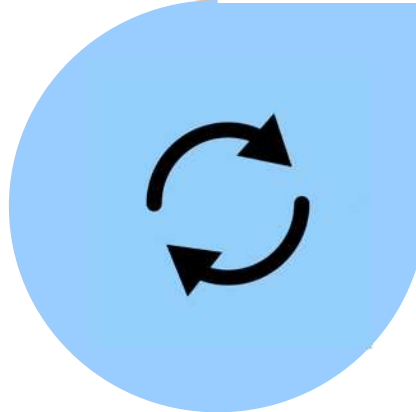
流動性の向上

- ・流通株式の増加



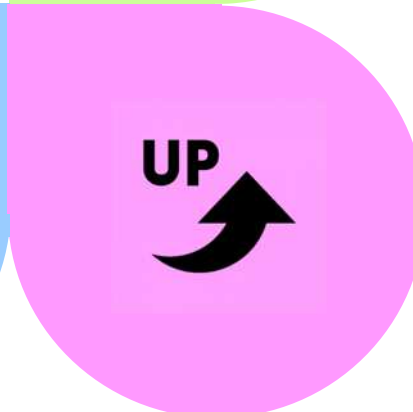
株主還元

- ・株主優待
- ・配当性向の向上



業績向上

- ・収益力の強化
- ・規模の拡大



PBR(株価純資産倍率)1.0倍以上を目指す
(2024/3/31現在:株価455円→0.78倍)

《注意事項》

本資料は情報提供を目的としており、当社株式への投資を推奨するものではありません。

また、将来の業績等に関する記述が含まれておりますが、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により変動する可能性があります。

投資にあたりましては、ご自身の判断により行って下さい。

本説明会に関するご意見やお問い合わせにつきましては、IR担当までお願いいたします。

IR担当 経営企画室

TEL:092-721-3473 FAX:092-721-3460

メールでのお問い合わせは当社ホームページよりご連絡ください。

URL:<https://www.fujips.co.jp>